

秦野市地域公共交通の取組み



平成30年7月
神奈川県秦野市

自己紹介及び業務内容

廣田 達也(神奈川県秦野市役所)

- ・平成21年度入庁 10年目(全国植樹祭推進課⇒学校教育課⇒関東運輸局旅客第一課へ派遣(H27、28年度)を経て、平成29年4月より現職)
- ・公共交通推進課での業務
 - 乗合タクシーの運行に関すること
 - 交通需要マネジメントに関すること
 - 地域公共交通会議に関すること
 - 補助金に関すること



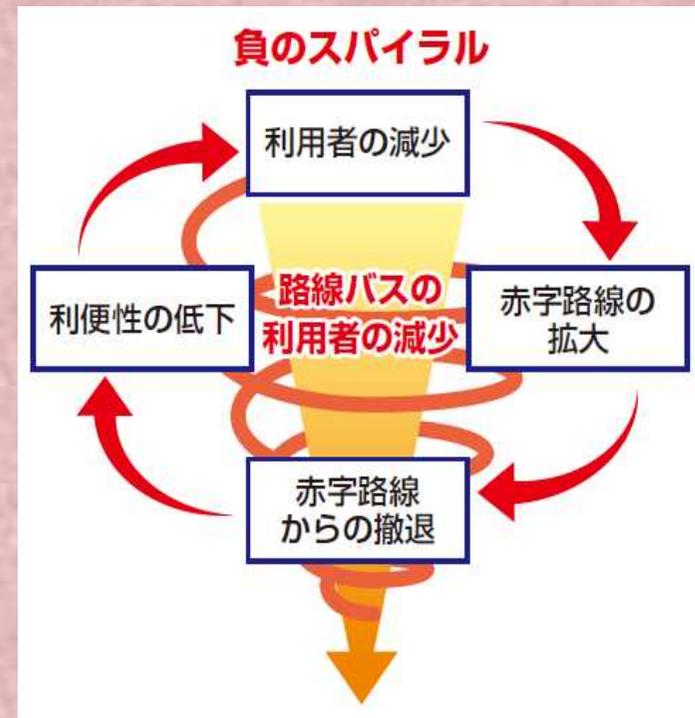
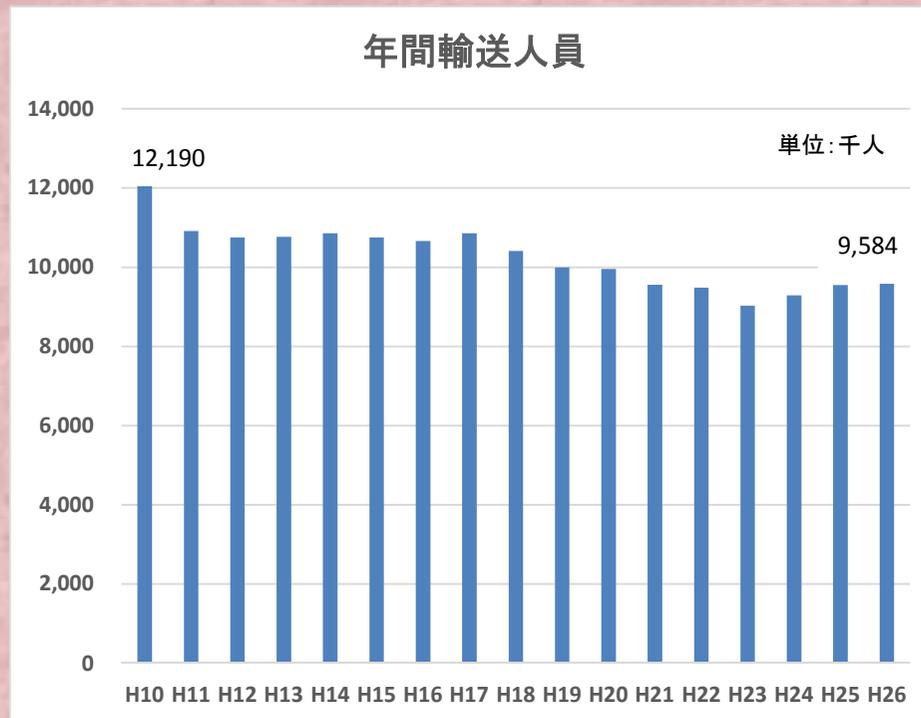
神奈川県秦野市



- ・神奈川県央の西部に位置
- ・面積: 103.76km²
- ・人口: 165,572人
(平成30年7月1現在)
- ・中心部は東京駅から約60km
横浜駅から約37km
- ・県下で唯一の典型的な盆地

公共交通の現状と課題①

- ・小田急線の鉄道駅4駅⇔路線バスが放射状に運行
- ・少子高齢化・モータリゼーションの進展、人口減少等により、バス利用人数は、この17年間で約**21%**減少



公共交通の現状と課題②

- ・平成14年2月道路運送法の一部改正

乗合バス事業→需給調整規制の撤廃→廃止や減便

廃止検討路線数:13路線

課題1 不採算バス路線対策

- ・公共交通空白地域が点在(鉄道駅から半径700m且つバス停から300m離れた地域)

課題2 路線(乗合)バスではカバーできない地域への対応

- ・課題1及び課題2への対応策

地域公共交通会議を設置(平成19年5月)

新たな地域公共交通に係る運行基本計画策定(H20.3)

※乗合タクシーを基本に新たな地域公共交通の導入

乗合バスの利便性向上への取り組み

- **ノンステップバスの導入(平成17~22年度、28年度~)**
 - ・合計21台導入(うち13台分を補助) 補助金額:20,141千円
- **PTPS(公共車両優先システム)の導入(平成18・19年度)**
 - ・バス107台に設置 補助金額:2,334千円
- **バスロケーションシステムの導入(平成21年度)**
 - ・バス123台に設置 補助金額:11,378千円

乗合タクシーの取組経過

1 地域公共交通活性化・再生総合事業

- (1) 秦野市地域公共交通総合連携計画策定 平成20年 9月 1日
- (2) 路線固定型乗合タクシー 実証運行開始 平成20年10月30日
- (3) デマンド型乗合タクシー実証運行開始 平成21年11月16日

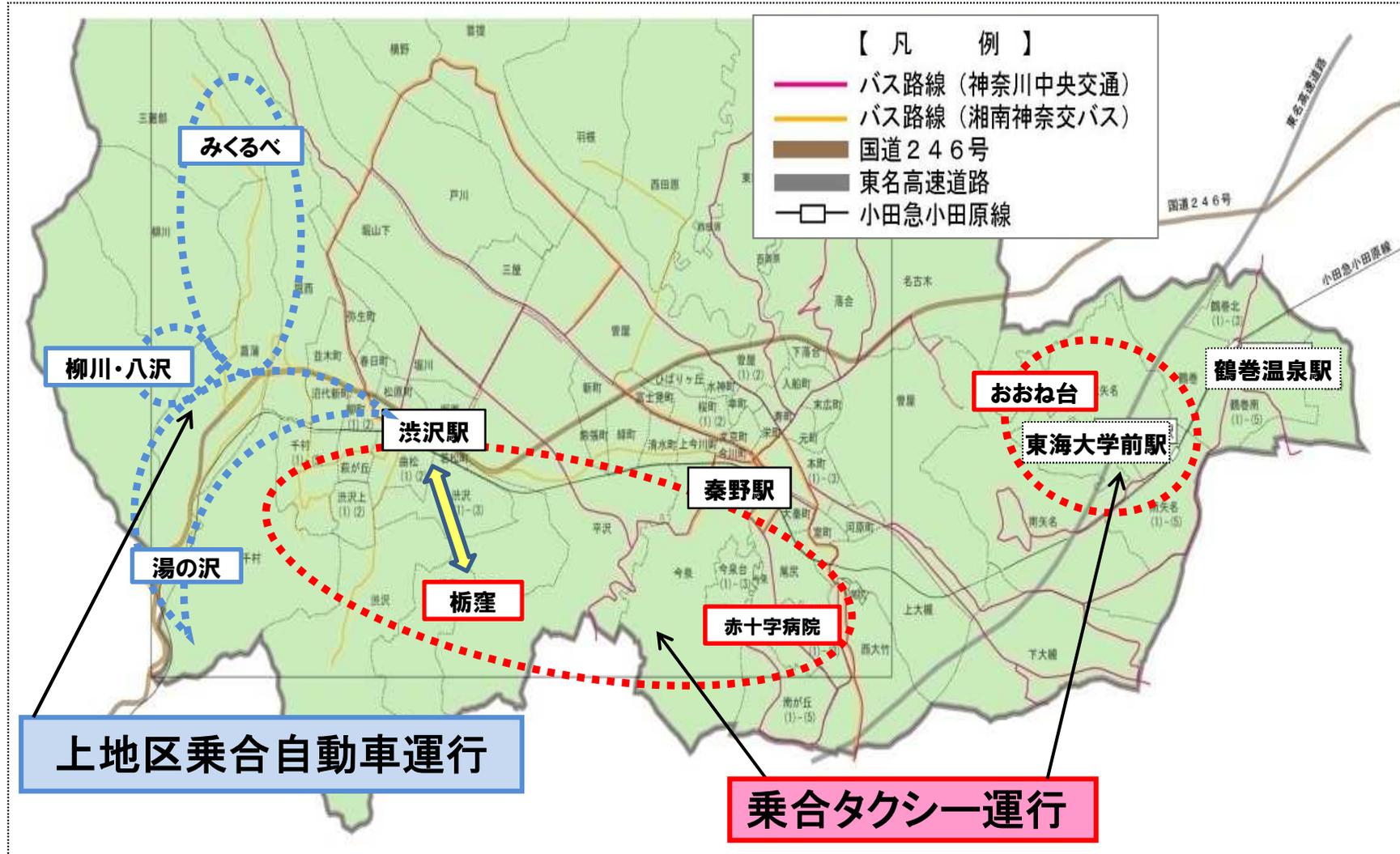
⇒平成23年4月1日本格運行

2 地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統)

上地区乗合自動車(路線固定型)実証運行開始 平成23年10月3日

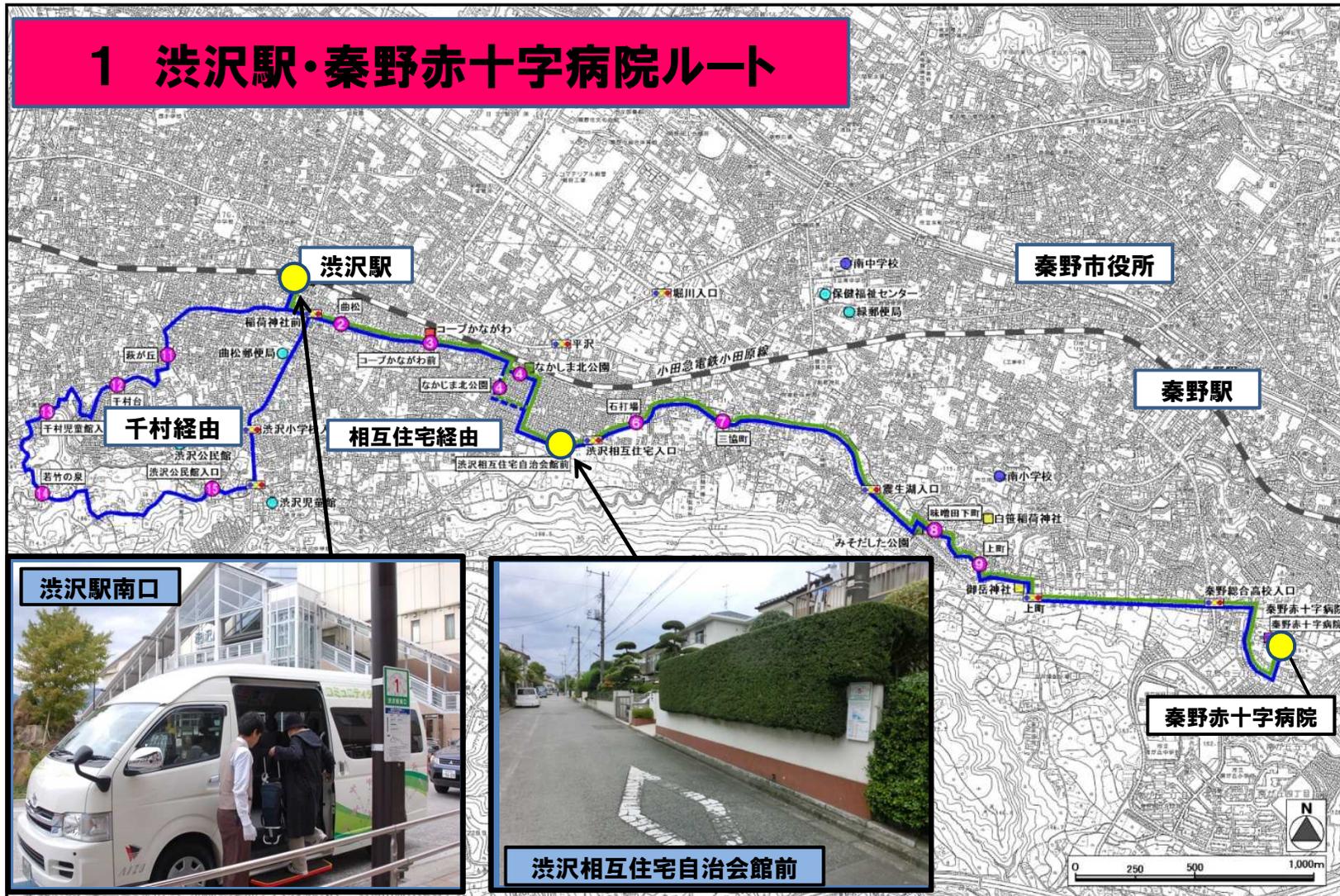
⇒平成26年10月3日本格運行

乗合タクシーの実施区域



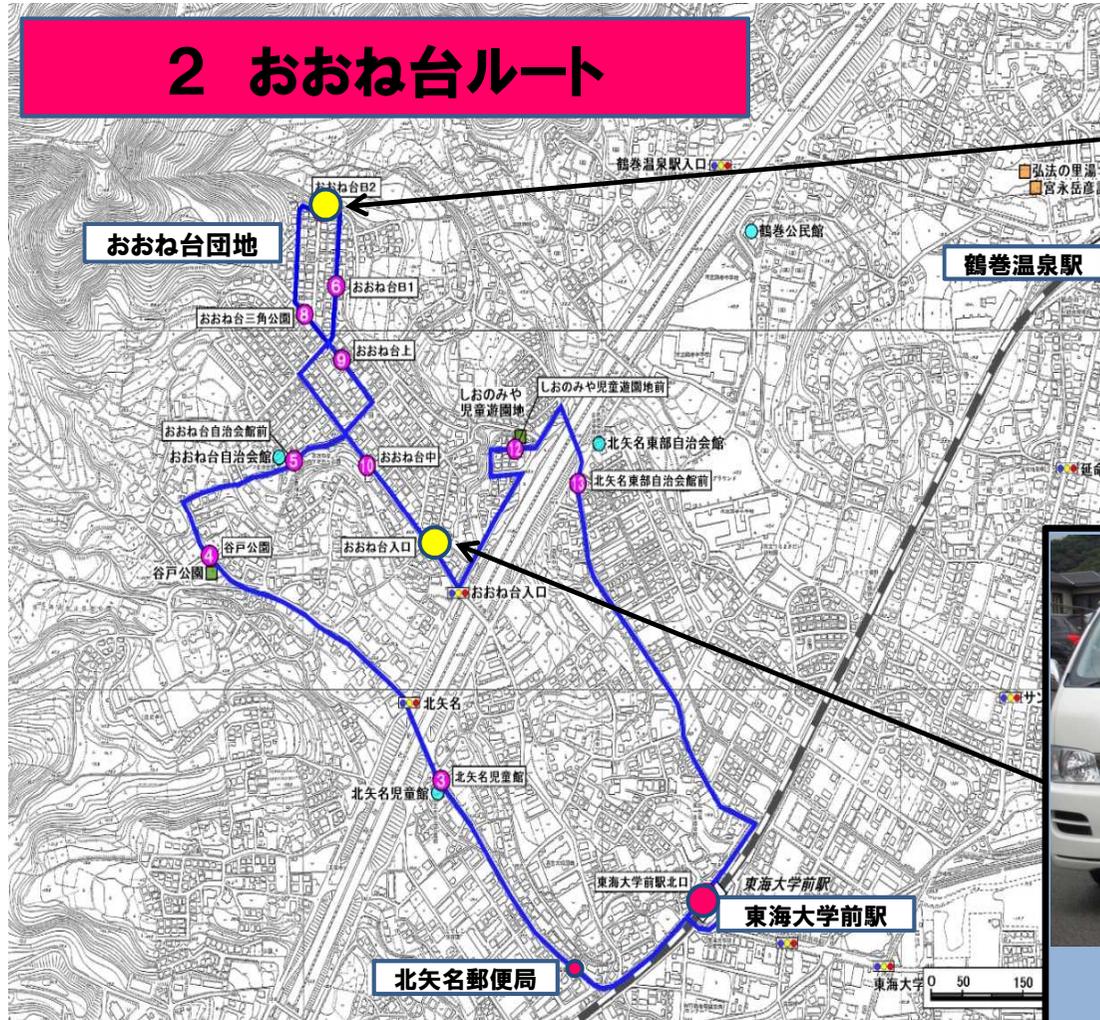
路線固定型乗合タクシー①

1 渋沢駅・秦野赤十字病院ルート



路線固定型乗合タクシー②

2 おおね台ルート



「おおね台B2」停留所

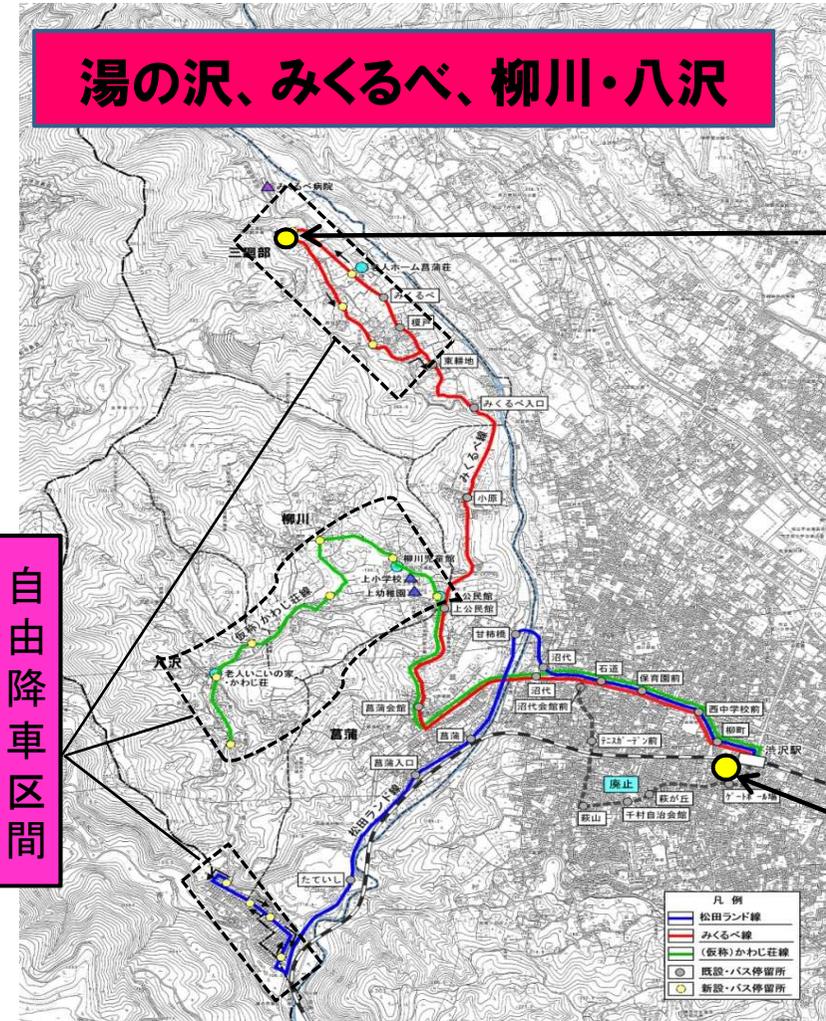


「おおね台入口」停留所

上地区乗合自動車(路線固定型)

～ 行け行けぼくらのかみちゃん号 ～

湯の沢、みくるべ、柳川・八沢



「県民の森入口」停留所



「渋沢駅北口」停留所

路線固定型乗合タクシー事業概要

区 分	渋沢駅・秦野赤十字病院ルート	おおね台ルート	上地区乗合自動車	
運行形態	道路運送法第4条許可(路線定期運行)			
運行日	月曜日から金曜日までの平日(12/29~1/3運休)			
運行車両	乗車定員14人のワゴン車両(4台)			
運行便数	19便/日	18便/日	32便/日	
運 賃	ゾーン制:200円~300円	一律200円	ゾーン制:200円~300円	
平成 29 年度	運行日数	244日		
	利用者数	16,349人(3.53人/便)	17,068人(3.89人)	23,899人(3.06人)
	運行経費(A)	12,756千円		11,950千円
	運賃収入(B)	7,233千円		5,287千円
	収支率(B/A)	56.7%		44.2%
	国補助金	—		2,810千円
	市補助金	8,638千円		
	事業者負担額	738千円		

デマンド型乗合タクシー

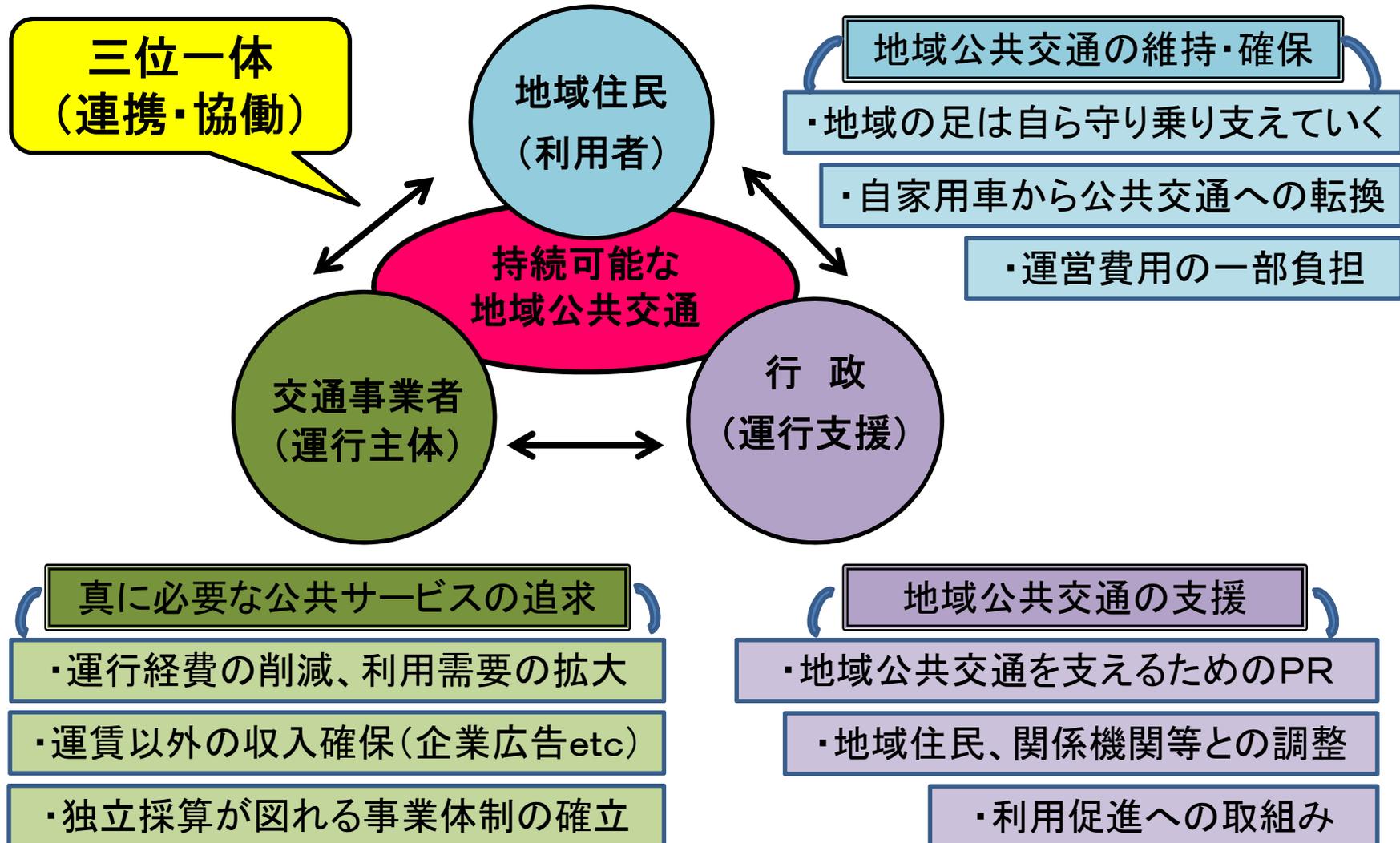
渋沢駅⇔栃窪・渋沢エリア



渋沢駅南口

運行便数		駅発5便/日・居住地発6便/日
運賃		1人350円(往復又は利用者同士の利用時割引有り)
平成 29 年度	運行日数	143日
	利用者数	307人(1.13人/便)
	運行経費(A)	292千円
	運賃収入(B)	98千円
	収支率(B/A)	33.4%
	市補助金	97千円
事業者負担額		97千円

持続可能な地域公共交通を目指して



その他の公共交通施策の取組み

- 1 高速バス路線の拡充
- 2 交通需要マネジメント(TDM)の推進
 - (1) ノーマイカー・エコ通勤デー事業
 - (2) 交通スリム化教育
 - (3) パーク&バスライド
- 3 小田急電鉄(株)との連携協定締結
- 4 福祉部局との連携事業

福祉部局との連携事業

高齢者向けバス乗り方講座の実施

実施日 平成30年4月26日(火)

参加者 32名(その他見学等も含めると50名近くが参加)

内容 地元自治会、交通事業者、市の福祉部局及び交通部局が連携・協働して実施。

自治会館の中で、バスを使ったいきがづくりと介護予防に関する話をした後、外に出て実際のバスを用いて乗り方を説明。

神奈川新聞記事
4月27日号



東京交通新聞
記事
4月30日号



ご静聴ありがとうございました。